

# 委員会報告

3月9日の本会議において各常任委員会に付託された議案審査は、次のように決定した。

## 文教厚生常任委員会報告

付託された議案は、原案のとおり可決した。特に敬老会事業のあり方や文化振興費について議論があった。

**質問** 一堂に会する敬老会を旧町単位でできないか。

**答弁** 市民の皆さんからの復活を希望する声は聞いたことがあるが、直接担当課への要望はない。地区単位で行う現行の方式には合併協議会で合意された。今後要望があれば検討したい。

**質問** 文化団体等で存続すべき意義のあるものは、補助金の上限を超えてでも支援すべきでは。

**答弁** 今後検討していく。



▲金田敬老会



## 総務常任委員会報告

付託された議案は原案のとおり可決した。特に次のことについて議論があった。

**質問** 小城市合併振興基金条例について、経常収支比率が上がり、交付税も不透明。この時期に設置する必要があるのか。

**答弁** 4～5%上昇するが、県内でも5市町が実施している。

**質問** 借金の先送りではないか。大型事業を見直すべき。

**答弁** 運用期間があと5年しかない。今、設置しなければならぬ。後世につけを残すわけではない。大型事業は当然見直さなければならない。

**質問** 小城市廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例について、中継センターを建設するまでの2年間は確約できるのか。地元との協定書はどうなっているか。

**答弁** 相手があり確約できない。協定書は恒久的中継基地が完成する期間としている。

**質問** 処理施設の中継センターの名称についても、応急の中継センターとすべきではないか。

**答弁** 現行のままご理解願いたい。



▲一般廃棄物中継センター（牛津町）

## 産業建設常任委員会報告

付託された議案は、即戦力企業誘致基盤整備事業に関して重点的に審議を行い修正案を多数で可決し、修正案を除く原案については、賛成多数で可決した。

**意見** 即戦力企業誘致基盤整備事業は、傾斜地の問題、危険な山である。5年間で企業誘致を行う説明だが、計画が不十分。

**答弁** 企業誘致の問い合わせもあっていったことから、3ha程度の工場団地と川沿いに進出したいとのことから、この場所を選定した。

**議論内容** 反対意見としては、「傾斜地で危険な山である。5年間で誘致の計画が不十分」予算以外の水道や道路のインフラ整備の費用答弁がない。のり面の安全策について市の責任もあいまいなど。一方、賛成意見では「今回は市内業者の市外移転が懸念され、従業員の雇用が失われる可能性がある」「のり面の防災管理は、防災管理協定で条件をクリアできると思う」等の討論があり、修正案に対して賛成・反対同数となり、委員長採決の結果、修正案を可決すべきものと決定しました。



▲即戦力工場団地予定地（小城町）